



202103-2

地域ブランドをつくる人たち

「素材」のブランドから「産地」のブランドへの転換

神戸シューズ 第2回

地域ブランドに強い関心を持ち、独自に地域ブランドの取材活動を行っている大江山特許商標事務所の弁理士 岡恵が、神戸市経済観光局ファッション産業課の森井義人さん、西田康司さんにオンライン取材を行い、「ケミカルシューズ (神戸シューズ)」振興における神戸市の取組についてお話を伺いました。

■神戸の地場産業、ケミカルシューズ

ー神戸市として、「ケミカルシューズ (神戸シューズ)」のプロモーションをされてきた歴史を教えてください。

森井さん「『神戸シューズ』の振興の担当になったのは、私は今年 (2020 年) からです。体制としては、私と西田の 2 名が担当しています。過去の資料によれば、ケミカルシューズ産業自体の振興を始めたのは、1950 年くらいようです。1995 年には阪神・淡路大震災が起こりまして、震災復興としても同産業を振興してきました。現在、自治体として、『神戸シューズ』のプロモーション支援を行う際は、各活動の中身を精査しながら、実施しています。日本ケミカルシューズ工業組合様 (神戸市長田区) の定期プロモーション会合に参加し、オブザーバーとして、行政目線から議論に参加しています。」

■地域団体商標「神戸シューズ」

ー地域団体商標「神戸シューズ」の登録前後でプロモーションの内容、質に変化はありますか？

森井さん「平成 26 年 (2014 年) 3 月に、地域団体商標として『神戸シューズ』が登録になってから、神戸市としても『神戸シューズ』のブランド化を推進しています。商標登録により国のお墨付きをいただいた、ということもあり産官の連携が強化されたと思います。直近でいえば、ホームページの作成、新長田エリアの看板設置、神戸国際展示場で開催される『日本グランドシューズコレクション』 (日本ケミカルシューズ工業組合主催) 等への支援が挙げられます。」

■履きだおれの街「神戸」の自治体として

森井さん「履きだおれの街と言われるほど、神戸は製靴業が有名です。明治維新後に居留地を中心に外国の方の靴を修理したり、革靴を作りが始められたという歴史があります。本市としては、神戸の靴産業全体を振興し、神戸のその他の地場産業振興も進めながら、強み・特色ある『神戸シューズ』への支援を進めていきたいと思っています。」

■「神戸シューズ」の知名度はじわりじわりと上昇中

ー「神戸シューズ」の知名度が上がってきた実感はありますか？

森井さん「靴業界の方に伺うと、神戸、浅草、大阪、北九州などが全国的に靴の産地として挙げられ、中でも浅草と神戸は二大産地として知られています。現在、百貨店催事などを通じて、『神戸シューズ』というブランドを磨き上げている段階です。まだまだこれからですが、『神戸シューズ』が、例えば『今治タオル』のように、高品質な靴として“少し高くても買いたい、履きたい”と思っていただき、広がって行って欲しいと思っています。」

西田さん「神戸の地場産業の力を信じ、粘り強く支援を続けていくよう努めてまいります。」

森井さん、西田さん、貴重なお話をありがとうございました。自治体として神戸の地場産業を支援してゆく、まっすぐな姿勢に胸が熱くなりました。

近い未来に「せっかく神戸に行くんだから、『神戸シューズ』を買いたい！」、「『神戸シューズ』を買うために神戸に行く！」という方が増えてほしい、と個人的に強く思います。神戸は観光資源が多い街ですから、ツーリズムに靴を組み合わせることで、ユニークな旅にもなる予感がします。

これで2回シリーズの「神戸シューズ」のレポートをおわります。

(文：岡 恵)

【神戸市経済観光局ファッション産業課】

〒651-0087 神戸市中央区御幸通 6-1-12 三宮ビル東館 4階

URL <https://www.city.kobe.lg.jp/a96559/kanko/fashion/kobechemicalshoes/index.html>

お問合せ 電話 078-333-3330 Fax 078-333-3314

【大江山特許商標事務所】

所長弁理士 岡 恵

所在地 〒651-0086 兵庫県神戸市中央区磯上通 4丁目 1-14 三宮スカイビル 7F

お問合せ 電話 050-5358-4585 URL <https://o-ip.pro/>